

社会福祉法人 関西中央福祉会  
平成リハビリテーション専門学校

第5回 教育課程編成委員会 議事録

1. 開催日時 令和5年10月12日（木）18時00分～18時55分
2. 会議出席者
  - 樋笠 重和 （兵庫県理学療法士会 理事）
  - 渡邊 康子 （兵庫県作業療法士会 理事）
  - 玉井 由美子 （兵庫県言語聴覚士会 阪神南ブロック長）
  - 松本 憲作 （淀川平成病院 理学療法士）
  - 井上 真一 （神戸平成病院 言語聴覚士）
  - 田山 大介 （西宮回生病院 作業療法士）
3. 陪席者
  - 藤本 陽子 （副校長）
  - 松村 竜誠 （理学療法学科 学科長）
  - 佐平 安紀子 （作業療法学科 学科長）
  - 青木 崇 （言語聴覚療法学科 学科長）
  - 奥田 秀樹 （事務長）
4. 会議の場所  
兵庫県西宮市津門西口町2-26 平成リハビリテーション専門学校内  
Web 会議方式にて実施

## 5. 審議・議題事項

開催にあたり、各委員及び当校役職者の紹介を行う。

続いて今回の議長の推薦をはかったところ、議長を青木学科長、書記を奥田事務長で推薦することを決め議事審議に入る。

### 議案1. 新型コロナウイルス感染症感染症の5類引き下げによる本校の取組みの変化

スライドの資料に基づき、藤本副校長より説明を行う。

- ・ 前は校内での取組みを説明したが、今回は変更点を紹介。
- ・ 継続項目及び廃止項目について。
- ・ マスク使用状況について。
- ・ 食事時点での対応。
- ・ 校内での見回り状況・アルコール消毒・定時の換気の廃止。

### 議案2. 3学科カリキュラム改定について

スライドの資料に基づき、藤本副校長より説明を行う。

- ・ PT・OTは2020年度から運用。ST 昨年から運用。
- ・ 1年生で学ぶ履修科目が多い。高校卒で成績不良者が増加傾向。
- ・ ST 2年制では学生の対象が大卒、3年制では高卒に変更。現行カリキュラムでは難易度が高い。
- ・ 3学科とも併せて変更を予定。
- ・ 1年生での履修科目の見直し。
- ・ PTOT 精神分野を追加。PTは精神分野が少なく、苦手意識を持つ、理解が乏し学生がいる。
- ・ OTは精神分野に興味があるが2年生までに授業が無いのでモチベーションがおちる傾向。
- ・ 資料①を参照 変更点。
- ・ 可能であれば変更は来年度から予定。

委員より各内容についての質問

- ・ 学生負担を考えた見直しであるが、一例を教えてください。

学科長よりの回答

- ・OTは評価学・疾患学の部分で内容が前後してしまう。  
前後関係の流れがわかりやすくする意味合いで変更。

議案3. 学則変更・学科変更（転科）を認めることについて

スライドの資料に基づき、藤本副校長より説明を行う。

- ・夜間部があったときは転部だけは認めていた。
- ・現在は昼間部だけであるので、興味ある学科が途中であっても転科できない。
- ・途中進路変更があった場合、当該年度の1年からの転科で対応する。

委員より各内容についての質問

- ・転科は年間で何名ほどありそうか？
- ・①転科人数の設定②転科した後の定員について。
- ・入試の状況をみてからの転科判断か？？

副校長及び学科長よりの回答

- ・毎年出るものではないが、過去のケースとしては0ではない。
- ・退学を選択する場合がありますので、学内での選択肢を増やす意味で。
- ・3月の時点で転科できるかの判断をする。
- ・転科先学科の定員は超えないようにする必要はある。

議案4. 「臨床実習を考える会」開催計画について

スライドの資料に基づき、藤本副校長・学科長より説明を行う。

- ・診療参加型の実習についての問題点についての意見交換。
- ・実習環境をよりよくする場を設けることを検討中。
- ・企画中であるが、合理的配慮をどこまで対応していくか？
- ・合理的配慮について研修会に参加して学内でも検証中。
- ・学生の気質にあわせた実習先の配慮。
- ・学校と実習先との風通しを良くする目的で話し合いの場を設ける（年二回）
- ・実習先と情報共有する。

その他質疑応答

委員より他校ではあるが、大卒課程・高卒課程の違いで、社会性が欠如していることがある。

学業以外で学内での最低限でのマナーを指導してほしい。

藤本副校長より次回委員会開催予定の説明と参加のお願いを行う。

以上をもって各審議・報告事項を終了する。